

健康とくらし

2022年9月
521号

3面

組合員のみなさまに大切なお知らせ 出資金額の変更について



待合室

今年の迎え盆は台風接近の強雨の中で迎えました。青森や秋田では、大雨の被害のニュース。第七波のコロナ感染症で医療機関は大変。日常生活への困難な出来事が次々に起きていく中で、私達は、生活を送っています。

私の知人は、毎年8月に「この子たちの夏を私たちは忘れない」を上演し続けています。5名のメンバーで、自分たちのことばと身体だけで、1時間半8月6日の日常生活を表現して見せてくれます。今迄の上演回数は26回に。毎回表現される物語に新しい発見があります。あの日、真夏日の空の下で、何事も知らずに日々の生活をしていた人の分だけ物語があるのです。一発の原子爆弾が奪った物語。生きていた人々の事を忘れない誓いが続きます。

『わたしの遺書』（中沢啓治）を久しぶりに開きました。2020年8月2日付毎日新聞が挟まっている、一面分に中沢啓治さんが紹介されています。「原爆でうそは描けん」の大きな活字が目飛び込みます。中沢さんは6歳で被爆。「原爆漫画を描くなんて思ったことがなかった。逆に原爆は忘れたい。被爆のことは人に言つまいと生きてきた」と言います。しかし60歳で亡くなったお母さんの火葬に骨がないのを見て「原爆というやつは大事な大事なお袋の骨の髄まで奪って・・・」とそれから漫画「はだしのゲン」全10巻を作り、世界中の子ども達に読まれています。「麦こがテーマで、踏まれても踏まれてもたくましく芽を出す人間になって欲しい」という願いが込められています。

原水爆禁止世界大会

8月4日（木）～6日（土）に広島で原水爆禁止世界大会が開催されました。協立診療所の職員3名が現地へ行く予定でしたが、感染拡大状況を考慮してオンライン参加になりました。

23年ぶりに参加した医事課の田中真史さんは「私たちは被爆者の想いを伝承できる最後の世代であること、全世界で起きている核の問題を自分たちの問題として捉え、私たちにできることを考えて実行することが必要だと思います。命を大切にすると、命を大切にできる世の中になれるようこれからも努力し続けます」と想いを新たにしました。

4月に入職した看護師の内藤愛子さんは「大会に参加するにあたり、募金やカレー作りなどのカンパ活動を行ってきました。職員や組合員のみならずと共に作成した千羽鶴には、争いがなく誰もが安心して生きていくことのできる世の中になるようにと願いを込めました。人に対して思いやりの心を持つて行動できる人になっていきたいと思っています。平和な世界を共に作っていきましょう」と語りました。

同じく看護師の大森萌さんは「原爆に対して様々な体験談や原爆に対する考えなどを伺い、時間をかけて戦争の恐ろしさや悲惨さ、放射線や原爆についても考へることが出来ました。この

ような機会のある医療生協に所属することが出来てよかったと感じています」と語りました。

集まった募金は14万円に及びました。オンライン参加費などを支払い、残りは次年度の平和に関する取り組みに役立てられます。ご協力いただいたみなさま、誠にありがとうございました。



左から田中さん、内藤さん、大森さん、武藤次長も応援しカレー作り



毎年恒例、職員のお昼にカレーカンパを実施しました

平和のバトンを受け取る

広島平和記念資料館の「次世代と描く 原爆の絵」プロジェクトをご存知ですか。広島市立基町高校普通科創造表現コースの学生たちが被爆者の証言を聞き取り、1年をかけてやり取りし原爆のありさまを油絵に仕上げたものです。2019年にこのプロジェクトを知り、早速資料館から作品を収めたCDをお借りして、地域活動部の協力でプリントアウトし、新日本婦人の会宇都宮支部の事務局が一枚ずつラミネート加工して、展示できるようにしました。それからは毎年原爆パネルと高校生が描いた原爆の絵をセットで展示活動をしています。

今年は5月宇都宮フェスタ（城址公園）・7月平和映画祭「ひろしま」（文化会館小ホール）・8月原爆パネルと高校生が描いた原爆の絵展示（栃木県総合文化センター第二ギャラリー）の会場で高校生の絵を展示しました。8月の来場者の感想を紹介します。

●爆発で多くの人がけがをして、助けなど、水を求めたりしていることが分かった。（10代）

●絵を見ただけでもその悲惨さを感じ取れて大変胸が苦しくなりました（20代）

●高校生の絵がとてもリアルで、その時の事が良く分かりとても怖くなりま

した（40代）

●被爆者の話から良くここまで絵が描けたと感心しました。被爆者の想いを受け継ごうという気持ちを感じられました。（60代）

被爆者の声の世界を変えています。核兵器廃絶に向け、これからも高校生が描いた原爆の絵を展示します。

増山民江



11:02 長崎へ黙とうをしました
会場には約90人が訪れました



大切なお知らせ

9月初旬に全組合員宛に出資高通知を発送しました。

出資高通知の目的は2つです。組合員のみならずの①出資金額の確認をしていただくこと、②所在を確認させていただくことです。毎年この時期に行っていますので「承」ください。

また、今回は出資1口を1,000円にする定款変更について「大切なお知らせ」を同封しています。その内容をQ&Aでお伝えします。

Q1. なぜ1口1,000円にするの？

A1. より多くの人が加入しやすくするためです。高齢の方や若年層の方にも多世代に開かれた生協をめざしています。

Q2. 1口5,000円で加入していた人の出資金はどうなるの？

A2. 変更後は、5口5,000円に口数が変わりますが、出資金額は変わりません。組合員による手続きは不要です。

Q3. 1,000円ずつ積み立て増資をしていたけどそれはどう扱うことになるの？

A3. 継続可能です。今までは1,000円の積み立てを5回行くと1口5,000円になりましたが、これからは1回1,000円が1口増資になります。

Q4. 出資証券が廃止になると自分の出資金がなくなってしまう不安。

A4. 証券廃止はペーパーレス化を進めるためです。出資証券は不要になるためご自身で処分してください。

組合員一人ひとりの出資金は組合員管理シ

ステムで正確に管理されています。今後は年1回の出資高通知で出資金額をご確認ください。また、ご本人様より個別にお問い合わせがあれば出資額をお答えします。

Q5. 変更はいつから？

A5. 10月1日からを予定しています。証券の発行はそこから廃止になるので、加入増資の際は必ず領収書を受け取り保管してください。

Q6. 「自由脱退と減資の定款上の取り扱い」について教えてください。

A6. 出資金は会社でいえば資本金なので、事業年度の期中に大きく変動するのは好ましくありません。定款（生協法が元）に「90日前に予告し年度の終わりに払い戻す」と定められているのはそのためです。

しかし、さまざまな事情を考慮し柔軟に対応します。

なお、組合員本人の死亡や県外転居は「法定脱退」なのでその限りではありません。申請があればその都度対応いたします。

なお、出資高通知が届いていない場合は住所変更がなされていない可能性があります。本所までご連絡ください。みなさまのご理解とご協力をお願い致します。

栃木保健医療生活協同組合
大切なお知らせ

2022年6月25日（土）第47回総会開催後、定款の変更が議決されました。生協運営を担う本協会の体質が、現在専門職の不足を懸念しています。継続しければ今年10月ごろから出資証券が廃止となります。個々の出資高通知が送付済み、随時届くようにしてご案内します。出資高通知は、出資高通知の送付と変更届の提出を併せて送付させていただきます。大変お詫言わせておきます。取り込みが必ず確認いただけますようお願い申し上げます。

出資1口金額が5,000円から1,000円に変更になります

定款第16条が変更になります。「出資1口の金額は5,000円とし5回以上の分割払込みは行わない。ただし、第1回の払込みは前年から9月期に分割払い込まなければならぬ」とありますが、これを「出資1口の金額は1,000円とする。分割払いによる定款変更は、今後1口5,000円にて2回払いの合計は5,000円に相当する。1,000円単位の分割での増資は、定款変更は1口1,000円の増資扱いになります。」

出資1口金額の変更は、より多くの人が組合員になることを目的として行われるためです。また、定款の変更は、定款の趣意を尊重し、組合員が安心して組合員として活動できるように努めます。また、毎回の増資は、組合員がより多くの方に組合員になることを目的として行われるためです。また、定款の変更は、定款の趣意を尊重し、組合員が安心して組合員として活動できるように努めます。また、毎回の増資は、組合員がより多くの方に組合員になることを目的として行われるためです。

出資証券の発行が廃止になります

出資証券の発行が廃止になります。これまで出資金は紙と電子データで管理していましたが、電子データ管理の一環として廃止を断念いたしました。ご理解とご協力をお願いいたします。今後、出資高通知の送付と変更届の提出を併せて送付いたします。出資高通知の送付と変更届の提出を併せて送付いたします。出資高通知の送付と変更届の提出を併せて送付いたします。

..... **ご案内**

- ・組合員個人での変更手続きは不要です。
- ・増資は1口1,000円から可能です。

1口1,000円以下の増資は行いません。生協の出資口数に限り組合員は原則1人1口の増資を行う予定です。一方で、本協会の定款が変更されることに伴い、組合員の出資額を算出するシステムが変更されます。新システムが稼働した時点で増資を行います。

同封したお知らせ

虹・本部棟建設進行中!

11月の完成をめざし建設中の虹・本部棟建設。

8月中旬、換気扇や各種配線の取り付けが行われていました。どんな形が出来上がっていく様子を、新しい虹・本部棟への期待が膨らみます。

移転内容は医療生協本部、地域交流スペース、介護サ―ビスセンター虹（デイサービス、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、居宅介護支援事業所）、栃木民医連の事務所です。宇都宮協立診療所の移転ではありません。



2階にはたくさんの鉄骨が運び込まれています



広々としたデイサービス虹の予定スペース



本部他は11月中旬にオープン予定 デイサービス虹は12月にオープン予定（イメージ図です）

訂正

8月号「虹・本部棟建設進行中！」虹の社ではなく虹の「杜」です。

ひばりクリニック院長、認定特定非営利活動法人うりずん理事長を務める

高橋昭彦医師にお話しを伺いました。(下)

優しい風に吹かれるように(下)

9.11を目撃し悔いなく生きよう

—— 栃木でひばりクリニックを開くまでのいきさつは

滋賀県出身です。自治医科大学に進学し、学

生時代は北海道から沖縄まで旅をして、卒業後は様々な施設で医師経験を積みました。滋賀県では小児科と僻地医療を10年経験。看取りのための往診から日常を支えるための在宅診療への道筋を作ったり、役場と診療所のサービス連携システムを作ったりしました。その後、自治医大の恩師に誘われて栃木県の沼尾病院で6年間勤めました。また機会があり滋賀県に戻り、老人保健施設などでも勤務しました。

しかし、患者の要求に応えられるシステムがなく、自分のやりたい医療が思う様にできていない現実がありました。そんな折、2001年



高橋昭彦先生

にアメリカのホスピスツアーに参加しました。マザー・テレサが創設したエイズ患者のホスピスで出会ったスターのピンセントさん

に言われた「目の前のことやりなさい、そうすれば必要なものは現れるから」という言葉が胸にすっと落ちました。そして忘れもしない9月11日、私はニューヨークのマンハッタンにいました。世界同時多発テロが起きた日です。私たちのツアーはバスでマンハッタンの南部にある病院のホスピスへと向かっています。救急車両が何台もバスを追い越していく異変を感じ、窓の外を見るとバスの向かう方向に大きな黒煙が立ち上っていました。情報がなく、世界貿易センタービルにジャックされた航空機が突っ込んだテロ事件だったことを知るのは数時間後でした。

研修予定だった病院は患者の受け入れに対応しており、ツアーは勿論中止で飛行機は飛ばず、無事に帰れるのか、これからどうなるのか、混乱と不安を感じながらホテルで隔離生活を続けました。そして数日が経った頃に避難指示が出て、ツアー参加者とみんなで非常階段を降りながら「もしかしたら今日死ぬのかもしれない、いつ死んでも悔いのないように生きよう」と思いました。その後、無事に帰国できた私はすぐに栃木県でひばりクリニックを開業しました。

医療生協の医師とも在宅ケアで連携

—— すごい経験をされましたね。開業場所が滋賀県でなく栃木県を選んだのには理由があるのでしょ

栃木県での開業を選んだ理由のひとつとして、関口真紀医師(現・栃木保健医療生協理事長)との出会いが関係しています。関口先生とは「在宅ケア宇都宮」を立ち上げ、共同代表として在宅医療に取り組む医師たちとの意見交換や連携の場づくりを進めていました。

また、訪問看護・介護・福祉などの仲間との

交流も進みました。「在宅ケアネットワーク栃木」は、毎年2月に数百人規模のシンポジウムを開催するまでに連携の輪がひろがりました。そういう仲間がいる環境だったことは大きいです。

同じ自治医大の出身ということでは、宇都宮協立診療所の武井大医師もいます。武井先生にはうりずんがかかわっている小児の訪問診療も担当していただいています。

また、在宅医療を担う後継者を育成する「宇都宮家庭医療後期研修プログラム」にNHO栃木医療センターと宇都宮協立診療所の先生たちと一緒に取り組んでいます。

実は私も60歳を過ぎ、後継者問題を抱えています。現在後期研修医としてある病院の小児科で学んでいる若い医師がいます。良くて飯をごちそうしていますが(笑)在宅医療の大切さややりがいを感じてもらえたらいいなと思っています。



アメリカのホスピスでヒントを得た感謝の木
(寄付者の名前を葉っぱに書いて貼ります)

ケアが必要な子どもと家族に支援を

——うりずん応援団について教えてください

医療の進歩により多くの幼い命が救われる一方で、重い障がいや病気を抱えて医療に依存しなければ命をつなぐことが難しい子どもが増えています。

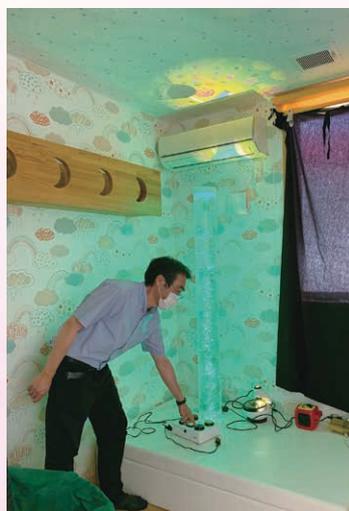
うりずんはそんな重い障がいを持つ子どもと家族を支援しています。子どもにどんな障がいがあっても、子どもと家族が居心地よく暮らしていける社会を目指しています。うりずんを利用するようになった家族から「きょうだい児の学校行事に参加することができました」「はじめて友だちとランチに行きました」という声をいただきます。家族にとって、このような当たり前の日常を手に入れることは大変困難な状況にあります。

しかし、人工呼吸器など医療依存度の高い障がい児を安心安全にお預かりするためには、看護師や介護士、保育士によるほぼマンツーマンの支援が欠かせません。そのため手厚い人員配置が必要になり、人件費がかかります。自治体などからの委託料や財政補助は限りがあるため、うりずんの経営は活動の趣旨にご賛同くださった全国約1200名の賛助会員と寄付者に支えられています。そのみなさんがうりずん

応援団です。うりずんが活動を続けて行くためには、みなさまの応援が必要です。一人でも多くの子ともと家族が、当たり前前の暮らしを手に入れるために、ぜひ賛助会員・寄付者として、活動を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

詳しくはHPをご覧ください。

<https://www.npourizn.org/>



子どもがゆったりと休める
スヌーズルーム



うりずんの廊下には楽しい行事の写真が沢山

風の音で涼を得る

夏といくと色々な音が聞こえてきますね。鳥のさえずり、蝉の声、雷、等々。そんな中でも昔からあるのが風鈴の音色です。

デイサービス虹では、夏の作業で風鈴を作りました。暑い夏に風を感じることが出来る風鈴の音は、日本の夏の風物詩。昔からあるこういうものを大切にしていきたいですね。

所長 榎 忠光

☎0288-65218501

医療との連携で、介護度の高い方の受け入れも可能です。2022年12月にはリニューアルして移転予定！見学やお問合せも受付しています。お気軽にご連絡ください。



好きな色で描いた世界に一つだけの風鈴



HPには毎日お昼ごはんを掲載しています！

▶医療生協介護サービスセンター虹

組合員の

いきいき活動

那須特集

出前シェフ参上 (7月12日)

「ポツンと一軒家ならぬ、支部イベントに参加できずポツンとしている組合員はいないかな？出て来られないならこちらから行こうよ！出前料理でなく出前シェフをやるよ！」

総会後すぐに具体化。これまで支部イベントの常連だった中島さんが今年の始めに連れ合いを亡くし、足もともおぼつかなくなりポツンとしている。役員さんはじめ有志が声をかけあって暑気払いを兼ねて激励会を開催することになりました。

いよいよ言い出しつぺの木庭シェフ(自称) 参上！会場は役員の須藤さんが提供してくれました。久しぶりの取組みで、おしゃべりサロンのベテランスタッフもマゴマゴしましたが何とか完成。

カツオの刺身と真鯛の焼き霜造り、野菜たっぷり冷やし中華風サラダ、須藤さんお得意の焼き餃子、ノンアルコールの黒烏龍茶で乾杯！

参加9人が密にならないように旧青年部と現青年部？を2部屋に分け開催。「激励するつもりが逆に長老組に元気を頂きました」と森支部長。

なかまと会話、美味しい食事、はじける笑顔！これぞ那須支部の原動力です。(木庭)



原爆展 (8月8日~10日)

町役場ホールでパネル展を毎年開いています。核兵器はいらないという世界の流れになりました。子や孫が安心して暮らせる地球を残したいですね。(森四郎)



広島に残り火 (8月9日)

東輪寺(さくら市)の平和の鐘をつく集いに参加して来ました。オカリナをはじめとした楽器の演奏もあり、みんなで心をひとつにしました。(森泰子)



子どもの居場所を育てていく



医療生協、正恵会、村井クリニックの3者が協同して運営している「子どものみらい応援隊」は、地域で子どもたちの居場所になることを目的として活動をはじめ、約3年が経ちました。

毎月第2・4木曜日夕方にホームタウン宝木で「子ども塾☆わいわい食堂」を開催しています。以前は集まって宿題や学習をしたり、遊んだり、一緒に食事をしていましたが、現在は感染拡大状況を考慮してお弁当配布が主です。コロナ禍で活動は制限されていますが、口コミで子ども参加者は増えています。

資金はとちぎボランティアネットワークからの助成金や募金がほとんどですが、最近はお野新聞社を通じて多くの企業から食材の寄付をいただいています。

先日は日本栄養士会より「栄養の日」にキウイフルーツと野菜ジュースをいただきました。キウイが大好きな子どもが多く、とても喜んでいました。

特別企画として、駄菓子屋企画や夏祭りなど体験の機会を創造しています。「ここに来るのが楽しみ」「いつも美味しいお弁当をありがとう」という声がうれしく、スタッフは支えられています。地域の居場所として継続できるように、今後も協同して取り組んでいきます。



この日はメインが肉巻きのお弁当



駄菓子屋風にしてお菓子を用意



キウイは栄養もたっぷりです

文芸コーナー

俳句

池の中睡蓮の花輝いて

ペンネーム 山野花子



ボケぼうし折り込みチラシひび教独を

宇都宮市 橋本とめ子さん

短歌

台風でダイヤ乱れし人々は
スマホ片手におろおるとする

宇都宮市 渡辺薫さん

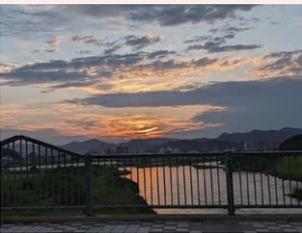
咲き誇る大輪の花夜の空に
三年待ちの歓喜の宴

ペンネーム スターマイン

絵・写真



栃木市 味村節子さん



▲緑橋からの朝焼け
足利市 秋元晴男さん

読者の声

心の健康を

緊急事態宣言は出ていませんが、これまでにならぬほどの感染者増加。外出は控えざるを得ず。心の健康を保つのが難しい。人に会うことの大切さを感じています。新婦人の会を通じて絵葉書を購入したり、スタンディングをしたりして、ウクライナの子どもたちへの支援をしました。

日光市 渡辺久美子さん

穏やかな日々を願いつつになったら穏や

昔を思い出します

自然のもののお大切さに触れた先月号の医療メモ「子どもの食生活」は、おもしろい通りで、共感すると共に昔のことを思い出させてくれました。イナゴやドジョウ・ウナギ、グミ・桑の実などを食べたことが懐かしい。ペンネーム ひろじい

医療メモ

雨の日に体調が悪くなる(天気痛)

雨の日や、雨が降る前に、頭痛やめまい、肩こりが起こる人がいる。そのほかにも、くび、膝、腰の痛み、耳鳴り、倦怠感、気分が沈むなど。このような症状・状態を天気痛と呼んでいる。天気が崩れると気圧が下がり、内耳のセンサーでそれを察知して、ストレスとして脳に伝え、自律神経の乱れが起こるとされる。痛みやめまいにはそれを改善する薬を。耳のマッサージやこりをほぐす体操なども有効だ。

生協ふたば診療所 医師 天谷静雄

出資金情報

- いま生協は
 - ①加入組員(8月) ……16人
 - ②組員総数 ……12,490人
 - ③増資金額(8月) ……470,000円
 - ④出資金総額 ……348,547,000円
 - ⑤一人平均出資額 ……27,906円
- (2022年8月31日現在)

クイズコーナー

□に漢字1字を入れ、夫々4つの熟語を完成しなさい。熟語は矢印の方向に読みます。日常では余り使わない熟語ですが辞書やSNSを活用してチャレンジしてみてください。

さて、①と②で出来る言葉(熟語)は何? ヒント:「今でしょう」

応募締切 10月15日 消印有効 **抽選で3名の方にグルメカードをプレゼント!**



7月号クイズの答えと当選者

- ①さやど
- ②ひととのや
- ③にわたこ
- ④おとろざわ
- ⑤にしふざかし

宇都宮市 小野崎一さん
佐野市 杉江一夫さん
足利市 河内節子さん

宇都宮協立診療所の外来診療表

〒320-0061 宇都宮市宝木町2-1016-5

TEL 028-650-7881(代)
FAX 028-650-7884

新患の方、急患の方、予約日はまだだけれど具合が悪くなった方などは予約がなくても診察ができますので、ご来院ください。
夜6時以降や休診日は、宇都宮市の夜間休日救急診療所へお願いします。☎028-625-2211

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 11:45	植木(予約) 関口 武井 軽部/川口 (内視鏡)	関口(予約) 池田 川口	軽部(予約) 水曜担当医 (平野/関口)	軽部(予約) 関口 武井 川口	軽部(予約) 関口 平野	交替制 11:45まで受付 午後休診
15:00 ~ 18:00	軽部(予約) 月曜担当医 (関口/植木)	火曜担当医 (平野/山口)	水曜担当医 (東山/山口)	軽部(予約) 木曜担当医 (山口/武井)	軽部(予約) 金曜担当医 (武井/池田)	
	18:00まで受付	16:30まで受付	16:30まで受付	18:00まで受付	16:30まで受付	

*両診療所、新型コロナウイルス感染症対策のため診療体制が変更になることがあります。*乳児検診(4ヵ月、10ヵ月)希望の方は、事前にお電話下さい。

●火曜日と水曜日と金曜日の受付は午後4時30分までです。●「予約」と書いてあるところは時間予約がとれます。予約をとった患者さんのみの診療となります。●予約の無い方は、予約の無い患者さんを診る医師がおりますので、そちらをご利用ください。●申し訳ありませんが、電話での診療予約はできません。来院時、窓口をお願いします。予約の変更は電話でもできます。●土曜日は、交替制となっています。担当する医師は外来に掲示します。

お知らせとお願い
予約の変更や診療時間や検査の問い合わせは、朝9時から夜7時の間にお願いします。朝の玄関の開錠時間は8時35分頃(朝礼後)です。受付開始時間は、朝は8時35分から、午後は2時30分からです。ご協力をお願いします。病棟の面会は事前予約制となっております。外来終了後、玄関を施錠します。

生協ふたば診療所の外来診療表

〒321-0164 宇都宮市双葉1-13-56

TEL 028-684-6200
FAX 028-684-6208

	月	火	水	木	金	土
8:45 ~ 11:45	北岡 鈴木(胃カメラあり) 千嶋	北岡(胃カメラあり) 武井 千嶋	鈴木 天谷	北岡 植木 古橋	天谷 千嶋	交替制
16:00 ~ 18:00	天谷	軽部(予約) 鈴木	休診	千嶋	関口	休診

【投稿の募集要項】クイズコーナーの回答、文芸コーナー、読者の声を募集しています。/手紙、はがき、FAX、メール、診療所や班会での手渡し、どのような形でも受付します。/毎月の投稿締め切りは翌月15日です。/お名前(ペンネーム可)、住所、連絡先を明記してください。/感想やご意見などは、文意を変えずに編集させていただきます。掲載作品は原則として返却いたしません。返却希望の方は必ず投稿時にお申し出ください。

1世帯あたり1通、郵送もしくは組員による手配りで毎月お届けしています。本人が住んでいない、お引越しなどの場合はお手続きが必要です。

連絡・投稿先 栃木保健医療生活協同組合

「健康とくらし」編集委員会 宛
〒320-0061 栃木県宇都宮市宝木町2-2554-14
電話 028-652-3714 FAX 028-652-3653
HP <https://www.tochigihoken.or.jp/>
メール chiiki@tochigihoken.or.jp
発行人: 関口真紀 印刷所: 株マルタイ印刷
毎月1回20日発行

HPはこちら



生かして新しい活動を創造しましょう。(宮)

多世代の人達が参加できる居場所づくり、SDGs、気候危機打開のために、ジェンダー平等、子どもたちの未来のために、持続可能な社会をつくるために、様々な人々と手を携えることが求められています。協同組合の強みを生かして新しい活動を創造しましょう。

必要です。

出資1口金額1,000円がいよいよ10月からスタートします。より開かれた生協をめざしての一步です。

しかし、1口が1,000円になれば自動的に「より開かれた生協」になれるわけではありません。多世代の人達が加入したくなる、加入してよかった、と思える活動を創り出すことが必要です。

「年一度は健診・がん検査を一協立・ふたば診療所または、お近くの医療機関で受けましょう。コロナワクチン予約でお困りの方は、生協本部にお問合せください。」

暑い夏が過ぎ、季節は確実に秋に向かっていきます。食欲の秋、運動の秋を感じながら、しっかりと睡眠をとってお過ごしください。

コロナ禍で、受診控えや検診控えが増えてきています。

栃木県は「BAー5対策強化宣言」を9月末までとしています。医療の逼迫を防ぐために基本的な感染対策を実施しつつ、できるだけ普通に社会生活を送ってまいります。

編集後記